

## 国際ロータリー第2640地区IM3組

ガバナー補佐 坂上 悟 (和歌山西ロータリークラブ)



新春を迎え皆様のご多幸をお祈りいたします、私はロータリーの活性化について、2つの夢があります。1つはNHKの番組「その時歴史は動いた」に「米山梅吉」を放映していただきたい事、他の1つはロータリーの社会奉仕活動は、専門知識を生かした奉仕活動をしていただきたい事です。

RCには医者、弁護士、会計士、設計士、司法書士、測量士、その他多くの専門知識を持った先生方がたくさんいらっしゃいます。

これらの先生方の専門知識を生かした奉仕活動を行なっていただきたい。

また、会社のオーナーは工場見学等、専門性を生かした奉仕をしていただきたい。

現在ロータリーの奉仕活動は色々行なわれているが、こうした専門知識を生かした奉仕、専門性のある奉仕は、あまり例がないように思います。

RCが活性化し、さらにRCにたいする市民の認知度向上になればと願って、ここに和歌山中RC済生会病院 井関良夫先生の活動を紹介します。

H19年11月23日、済生会和歌山病院において、「市民公開講座・無料健康相談会」が行なわれました。

済生会和歌山病院では毎年秋に行なっており、今年で17回目の活動とのことです。

市民公開講座13:00～14:20 講演1、「ご存知ですか 目の生活習慣病」。講演2、「よくわかる睡眠時無呼吸のはなし」

120～130名の市民がおしよせ講演会のあと具体的で真剣な質疑応答があり、また和歌山市消防団員による、緊急時救助活動の実演が行なわれ、緊迫感のある一時でした。

無料健康相談14:30～17:00 健康相談・栄養相談・薬の相談・血圧測定・体脂肪率測定・ABI測定・脳MRIがありました。

健康相談においては順番待ちの列が出来て、実に活気に満ちた奉仕活動で、私は一市民とし参加でき、感動を覚えるすばらしい奉仕活動でした。

このような奉仕活動の実施は非常に難しい事だろうと思いますが、RCは今後このような専門性を生かした、専門性を視野に入れた奉仕活動をご検討いただきたい。

そこで各クラブについて

和歌山RCは歴史と伝統・ステータスあるクラブなので、自クラブだけでなく、IM3組の全体的な視野に立って、リーダークラブとしての企画、奉仕、そして広報に力を発揮していただきたい。和歌山東南RCはすばらしい活動をしておられます。今後は専門性のある奉仕も検討していただきたい。

和歌山中RCは多方面にすばらしい活動をしておられ、うらやましく思う。

井関先生の奉仕を個人の奉仕でなく、中RC全体の奉仕活動にしていきたい。

また若い会員の増強があれば、鬼に金棒。

和歌山アゼリアRC 現在良い状態にあり、活気あるクラブです。若い会員も多く、また青少年地区委員もおられるので、青少年交換事業にも取り組みをしていただきたい。

和歌山西RC 加太の清掃奉仕は、西クラブだけでなく、地元とタイアップした活動にしてほしい。地域の協力は簡単に得られないでしょうが、ねばり強く頑張ってください。

(RI第2640地区マンスリーレター・2008年1月号より)